連作障害　元気な野菜作りのために

同じ畑に同じ種類の作物を連続して栽培する事を連作といいます。連作を続けると生育不良が発生しやすくなり、この障害を連作障害といいます。
作物の特性を覚え年間の計画を立てて連作障害を防ぎしっかりとした作物を育てましょう。

1. 連作障害の原因

①病害虫・病害菌・分泌物質

前作で根に付着した病害菌や病害虫が土中に残った状態で連作をすると、これらが繁殖し害をあたえます。また、根から分泌された特殊な成分が土中に残って害をあたえる事もあります。病原菌や線虫は、春～夏の野菜の連作障害の主因になるので、特に注意を払います。

②土壌の肥料成分による生理障害

連作を続けると、吸収される成分や、微量要素がかたよるため、土壌の成分が不均等になり微量要素の欠乏症などの生理障害を起こす事があります。

2. 連作障害の対策

①輪作

同じほ場で異なる作物を周期的に入れ替えて育てることで連作障害の要因を取り除きます。すべての原因に対して有効で手間や資材が少なくて済みますが、多くの耕地面積が必要になり休閑期間を考えた作付計画をしっかり立てることが必要になります。注意を要する野菜や分類上の類縁関係、休閑期間の目安は以下のとおりです。

野菜や分類上の類縁関係

ナス科	マメ科
ナス・トマト・ピーマン・トウガラシ	インゲン・エダマメ・ソラマメ・エンドウ
ウリ科	**アブラナ科**
キュウリ・カボチャ・ズッキーニ・メロン・スイカ	タカナ・キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー・チンゲンサイ・コマツナ

休閑期間の目安

輪作年限	野菜の種類
1年休閑	ホウレンソウ、インゲンマメ、タカナ など
2年休閑	ニラ、レタス、サラダナ、ハクサイ、キュウリ など
3～4年休閑	ナス、トマト、ピーマン、ソラマメ、サトイモ など
4～5年休閑	エンドウ、スイカ など

②土づくり

堆肥や有機物（稲ワラ等）の投入、深耕を行うことにより物理性の改善につながり、健全な作物が育ち易い環境ができます。アブラナ科栽培では植え付け前にFTE（微量要素複合肥料）などを施しておきます。

③土壌消毒

家庭菜園では、太陽熱消毒が効果的です。土壌消毒剤を使用する場合は有益な菌まで死滅させる恐れがありますので、用法用量等に十分注意してください。

④接木苗

果菜類では、連作をしても障害に強い品種を台木にした接木苗が市販されていますので、それを利用します。

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。